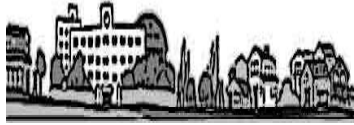




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和2年5月15日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

保護者・地域の皆様から支えられて

校長 野瀬 浩司

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校が延長される一方で、昨日からは分散登校が始まりました。3年生以上は、学級が半分に、そして、午前と午後に分かれる変則的な学校生活になります。それでも、学校に子どもたちの明るい声が響くことは、わたしたち教職員にとって、何よりの喜びです。6月からの通常授業再開を願いながら、1日2時間の授業を大切にしていきたいと思えます。

さて、ゴールデンウィーク中に地域の方からこんな連絡がありました。



分散登校オリエンテーション（6年）

- ①公園で小学生が水鉄砲遊びをしていたため、滑り台がぬれて使えなかった。
- ②道路でスケートボードに乗って遊んでいる小学生がいた。急に飛び出し、大変危険だった。

今号で言いたいことは、2つの事案で共通する「ありがたかったこと」についてです。それは、学校に連絡していただいた方が、いずれも「遊んでいた子どもたちに直接注意（指導）をした」ということです。これは、すばらしいことであり、大変重要なことです。

概して、子どもは、次の日に事情を聞いても、正確なことを覚えていなかったり、都合の悪いことは言わなかったりするものです。一番心に響くのは、その場での注意（指導）です。学校でも、「地域の方から『危ないから止めようね』と注意されたでしょ。」などと話ができます。子どももあいまいな答えはできません。地域の方からの指導と学校での指導がダブルで行われることで、その効果が2倍以上になります（もちろん、お家の方の場合も同じです）。

学校では、現場の確認に行った生活指導主任の指示により、全学級で「地域での遊び方のルールや約束事」について、改めて話をするとともに、名乗り出た関係児童には、個別の指導も行いました。一部に、「言われた後も続けていた」という情報があったので、併せて、注意をしました。

今回は、地域の方からの情報でしたが、お家の方からも、担任が気付かない子どもたちの姿や内面について、貴重な情報が寄せられます。様々な情報を、子どもたちへの適切な指導に活かしていくことが大切だと考えています。また、情報だけでなく、登下校の見守り・学習ボランティア・学校行事の補助など、学校の全ての教育活動が、保護者や地域の皆様から支えられています。そのことへの感謝の気持ちを忘れずに、家庭・地域と連携した学校創りに努めてまいります。